

名前 _____

日付 _____

得点 _____

1 / 2

1 答 2 何もせずに見ている**【手をこまねく】** 何もせずにただ見ている

- × 1 「準備する」という意味だと思われがちだが誤り
- × 3 それは「手を貸す」の意味
- × 4 「手を急ぐ」という慣用句はない

覚え方 「こまねく」は腕を組むこと。腕組みをして動かない様子

例 何もできず、手をこまねいて見ているだけだった。

2 答 2 遠慮がいらず気楽だ**【気が置けない】** 遠慮がいない、気楽につきあえる

- × 1 「油断できない」という逆の意味に取られやすい
- × 3 気が合わないという意味ではない
- × 4 落ち着きとは関係がない

覚え方 「気を置く」＝遠慮する。その否定なので遠慮がいない

例 気が置けない友人とゆっくり過ごした。

3 答 2 役目が軽すぎる**【役不足】** その人の実力に対して役目が軽すぎる

- × 1 「力不足」と混同されやすい。意味は正反対
- × 3 人数の話ではない
- × 4 準備の話ではない

覚え方 「役」が「不足」している。人ではなく役目が足りない

例 彼にこの仕事は役不足だ。もっと重い任務を任せたい。

4 答 2 親切はめぐって自分に返る**【情けは人のためならず】** 人への親切は、めぐりめぐって自分に返ってくる

- × 1 最も多い誤解。「ならず」を「ためにならない」と読んでしまう
- × 3 同情の是非を説くことわざではない
- × 4 厳しさを説く言葉ではない

覚え方 「人のためだけではない」という意味。自分にも返る

例 情けは人のためならずというから、進んで手伝おう。

5 答 2 他人の失敗も自分の役に立つ**【他山の石】** 他人の失敗や欠点も、自分をみがく役に立つ

- × 1 立派な手本という意味で使うのは誤り
- × 3 それは「対岸の火事」の意味
- × 4 障害という意味はない

覚え方 よその山の粗い石でも、玉をみがく道具になるという故事から

例 あの失敗を他山の石として、同じ過ちを避けたい。

名前 _____

日付 _____

得点 _____

2 / 2

6 答 2 実力が上の相手に練習してもらう**【胸を借りる】** 自分より実力が上の相手に、練習の相手をしてもらう

- × 1 休むという意味ではない
- × 3 勇気とは関係がない
- × 4 それは「腹を割る」の意味

覚え方 相撲で、上位の力士に胸を貸してもらうことから

例 先輩の胸を借りるつもりで試合に臨む。

7 答 2 つまらないものでもないよりはまし**【枯れ木も山のにぎわい】** つまらないものでも、ないよりはあったほうがよい

- × 1 ほめ言葉として使うのは誤り。自分に使う謙遜の言葉
- × 3 古さを評価する言葉ではない
- × 4 自然保護の話ではない

覚え方 枯れ木でも山の景色の一部になる、という控えめな意味

例 枯れ木も山のにぎわいと思って参加します。

8 答 2 流れに乗って勢いを増す**【流れに棹さす】** 流れに乗って、いっそう勢いを増す

- × 1 「逆らう」という逆の意味に取られやすい
- × 3 止めるという意味はない
- × 4 見守るという意味はない

覚え方 棹（さお）で川底を押して、舟を進める動作から

例 好調の流れに棹さして、一気に勝負を決めた。

9 答 2 口数が少ない**【口が重い】** 口数が少ない、進んで話そうとしない

- × 1 それは「口が堅い」の意味。混同しやすい
- × 3 好みの話ではない
- × 4 話が長いという意味ではない

覚え方 口が重くて開きにくい、という様子から

例 彼は口が重く、自分のことをあまり語らない。

10 答 2 手間がかかって大変だ**【骨が折れる】** 手間がかかって大変である

- × 1 それは「骨を折る」の意味。助詞で変わる
- × 3 実際のけがの話ではない
- × 4 疲労そのものを指す言葉ではない

覚え方 「が」なら大変、「を」なら努力。助詞に注目

例 資料をそろえるのは骨が折れる作業だった。